

第 53 回（令和 7 年度）
日本歯科医史学会総会並びに学術大会

会 長 安 細 敏 弘

会 期 令和 7 年 11 月 1 日（土）
会 場 九州歯科大学

第 53 回（令和 7 年度） 日本歯科医史学会総会並びに学術大会

会期：令和 7 年 11 月 1 日（土）

会場：九州歯科大学

〒 803-8580 福岡県北九州市小倉北区真鶴 2-6-1

日 程 表

8:55	9:00~ 11:00	11:00~ 12:00	12:00~ 13:30	13:30~ 14:00	14:00~ 15:00	15:00~ 16:10	16:10~ 16:20	16:20~ 17:30	17:30	18:00
開会挨拶	一般演題 ①②③④	特別講演	休 憩 記念写真 役員会 昼 食	総 会	会長講演	一般演題 ⑤⑥	休 憩	一般演題 ⑦⑧	閉会挨拶	懇親会

参加者の方へ

- 1) 当日のご参加の会員は会場受付で必ず参加登録をして下さい。当日会費は **9,000 円** です。
- 2) 本学会入会希望者は新入会受付にて入会金 **1,000 円**，年会費 **10,000 円** をご納入下さい。
- 3) 午前中の会長講演終了後，記念撮影，役員会を開催します。
- 4) 懇親会に参加希望の方は受付で会費 **9,000 円** をお納め下さい。

一般演題の演者の方へ

- 1) **発表時間 8 分，討論 2 分の計 10 分**です。演者は，座長の指示に従って下さい。
- 2) 次演者は指定の席にご着席下さい。
- 3) **スライド映写は 1 面です。発表スライドデータは Windows，MAC ともに Microsoft PowerPoint 2016 以降で作成して下さい。**学会の運営を円滑に行うため，**10 月 23 日（木）**までに，スライドデータを電子メールまたは媒体（CD または USB メモリ）にて下記まで送付願います。

- ・電子メールアドレス：jdsdh@gakujiyutsusha.co.jp
 - ・媒体送付先：学会事務局（株式会社 学術社内）
- 4) **発表を終了された方は講演要旨を 1200 字程度にまとめて上記事務局まで必ずご提出下さい。**

座長の方へ

- 1) **発表時間 8 分，討論 2 分の計 10 分**です。座長の待ち時間中の進行はご一任致します。
- 2) 次座長は指定の席にご着席下さい。

記念写真

- 1) 記念写真をお申し込みの方は，受付に写真郵送用封筒がありますので送付先をご記入のうえ提出して下さい。なお，記念写真代は **1,000 円**です。
- 2) 記念写真の撮影は，昼の休憩の時間に行います。

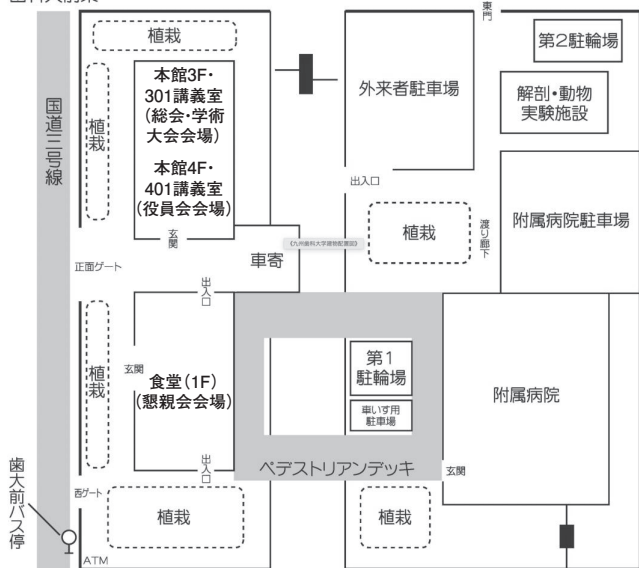
役員会

- 1) 記念写真の撮影後に役員会を開催しますので，役員会室にお集まり下さい。

会場案内図

〒 803-8580 福岡県北九州市小倉北区真鶴 2-6-1

歯科大前東



歯科大前西

案内図

<https://www.kyu-dent.ac.jp/about/campusmap>

アクセス方法

<https://www.kyu-dent.ac.jp/about/access>

● JR 小倉駅より

- (1) 小倉駅バスセンター 4 番乗り場から西鉄バスを利用する場合
西鉄バス 22・23・26・43・46・143 番系統で「歯大前」下車
(約 25 分)
バス停から大学まで徒歩約 1 分
- (2) 小倉駅入口バス停から西鉄バスを利用する場合
西鉄バス 1・7・7M 番系統又は特快で「到津三叉路」下車(約 20 分)
バス停から大学まで徒歩約 3 分

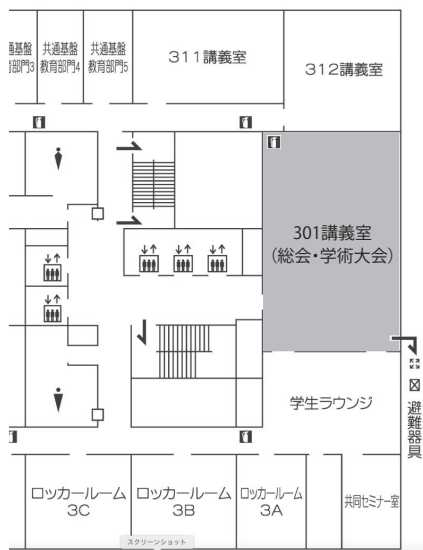
● JR 八幡駅より

- (1) 八幡駅入口第一バス停から西鉄バスを利用する場合
 1. 西鉄バス 22 番系統で「歯大前」下車 (約 30 分)
バス停から大学まで徒歩約 1 分
 2. 西鉄バス 1 番系統又は特快で「到津三叉路」下車 (約 25 分)
バス停から大学まで徒歩約 3 分
- (2) 八幡駅入口第二バス停から西鉄バスを利用する場合
 1. 西鉄バス 22 番系統で「歯大前」下車 (約 30 分)
バス停から大学まで徒歩約 1 分
 2. 西鉄バス 1 番系統で「到津三叉路」下車 (約 30 分)
バス停から大学まで徒歩約 3 分

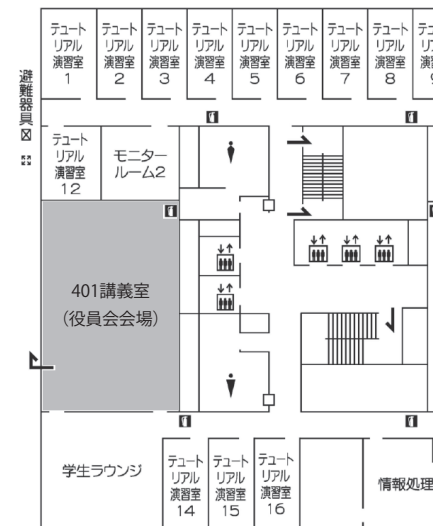
● JR 南小倉駅より

- (1) 徒歩の場合 約 15 分
- (2) 南小倉駅前バス停から西鉄バスを利用する場合
西鉄バス 22・23・26・43・46・143 番系統で「歯大前」下車
(約 5 分)
バス停から大学まで徒歩約 1 分

本館 3F



本館 4F



第 53 回日本歯科医史学会学術大会次第

8:55 ～ 開会挨拶

一般演題① 9:00 ～ 9:30

座長：佐藤利英

1) 熊本の偉人、一井正典^{いちのいまさつね}の記念碑をご存じですか？

○松本晋一 渡辺賢治

2) イーストレキー一家三代(父・息子・孫娘)の足跡を新知見で辿る

○大野肅英 鈴木 彰 松山 知明
鹿郷満保 吉田直人 遠藤 則子
山田晴樹

3) 相良知安と口中科

西巻明彦

一般演題② 9:30 ～ 10:00

座長：佐久間泰司

4) 小倉医学校 その1

○小林 繁 片岡正太 倉沢良典

5) 女子学生は歯科教育から「排除」されたのか

永藤欣久

6) 日本大学松戸歯学部附属歯科衛生専門学校の開校(昭和49年)から閉校(令和7年)まで

○石橋 肇 那須郁夫 山口秀紀
卯田昭夫 下坂典立 鈴木正敏
渋谷 鑛

一般演題③ 10:00 ～ 10:30

座長：小林 繁

7) 歯科医術開業試験について大正期全国の学説受験動向 一主に官報を資料として—
五十嵐康夫

8) 歯科医術開業試験について大正期全国の実地受験動向 一主に官報を資料として—
五十嵐康夫

9) 皇紀貳千六百年紀念齒科醫學會々誌(昭和15年刊)について

○渋谷 鑛 石橋 肇 山口秀紀
卯田昭夫 下坂典立 鈴木正敏
脇田雅文 田中晃伸

一般演題④ 10:30～11:00

座長：坂下英明

10)「ムシ歯の洪水」との格闘 ―わが国での小児歯科の夜明け(その4)―

笠原 浩

11) フレッチャリズムの国民健康運動および食育推進への受容

○濱寄朋子 竹原直道 安細敏弘

12) 医学と風土性(その2)

西巻明彦

特別講演 11:00～12:00

座長：安細敏弘

我が国の3歳児う蝕の激減の理由を考える

山下喜久

会長講演 14:00～15:00

座長：竹原直道

マスクの歴史と社会学 ― 古代 ～コロナ禍以降まで～

安細敏弘

一般演題⑤ 15:00～15:30

座長：松山知明

13) 湖雲寺跡遺跡から出土した人骨および木床義歯について

佐藤利英

14) 日本漢方における「古方派」の歴史的考察

西巻明彦

15) 結合組織移植術における術式の歴史的変遷

久世香澄

一般演題⑥ 15:30～16:10

座長：山口秀紀

16) ヨーロッパの貴族および上流社会における金属製小楊子の使用に関する歴史的調査

～ヨーロッパと日本における材質，食事エチケット，文化的背景の比較研究～

○鹿郷満保 大野肅英 鈴木 彰

松山知明 吉田直人 遠藤則子

17) アンゲル著書第4版歯列矯正第Ⅵ章「歯を動かす力の方向」

野上 ゆかり

18) アンゲルが血脇守之助に宛てた手紙 —Dr.SheldonPeck が望んだ後世への記録—

野上 ゆかり

19) ピエール・フォシャールの開口障害への対応についての考証

秋本和宏

16:10～16:20 休憩

一般演題⑦ 16:20～16:50

座長：石橋 肇

20) 明治期における歯科医師の出身地と族籍について

○松山知明 大野肅英 鈴木 彰

鹿郷満保 吉田直人 遠藤則子

山田春樹

21) 尾崎安之助「民族歯科衛生学」創設の背景について

押小路忠昭

22) 明治期の学校身体検査と徴兵検査における齲歯検査

○石井拓男 平田創一郎 後藤真人

一般演題⑧ 16:50～17:30

座長：石井拓男

23) 保険点数本の推移(1) 母集団の特定 —社会保障年表—

○大場浩子 大場 宏 別部智司

24) 保険点数本の推移(2) 通達 保発 告示 厚生省令 —社会保障年表—

○大場浩子 大場 宏 別部智司

25) 歯科医師臨床研修制度の変遷 ～法制化30年を迎えて 第1報 法制化前

○平田創一郎 石井拓男

26) 歯科衛生士・歯科技工士の業務拡大を考える

佐久間泰司

誌上発表

27) 町人文化と入歯師

西巻明彦

28) 幕末期から明治初期における国内戦の諸相，特に放火について

竹原直道